

であう。つながる。ひろがる。



同志社大学ボランティア支援室

活動報告書

2024



同志社大学 学生支援センター

ボランティア支援室

Support Office for Student Volunteer Activities

本学ボランティア支援室は、2016年4月に開設し、2024年度をもって設立9年となりました。いわゆる「大学に設置されているボランティアセンター」としては後発ですが、本学の建学の精神である「良心教育」に基づく「知育・心育」、教育理念の「キリスト教主義」に基づく「徳育」、「自由主義」に基づく「自主性・主体性」、「国際主義」に基づく「異なる価値観を受容できる社会性」、ボランティア活動がそれらを網羅的に育み、ボランティアコーディネーションを通して「学生の市民社会の一員としての自覚」を促すこと、また、学生の成長を支援していくと同時に、大学が「地域社会の一員としての責任」に応えていく役割を担っていることを意識した様々な取り組みを展開しております。

2024年度は、校地ごとの特色や地域からの要請に応じた効果的な施策を立案・実行していくこと、学生団体及びその活動全体を俯瞰・統括し、学内のボランティア活動の機運醸成を意識して5つの項目を掲げて取り組んでまいりました。

1点目「大学周辺を中心とした地域連携・地域参画の推進」においては、これまで構築してきた大学周辺地域とのネットワークを活かし、学生と地域が繋がる機会を創出するべく取り組みました。寒梅館クリスマスウィークにおける学生団体のワークショップの実施や、上京区の地域交流の場である「上京朝カフェ」と同志社 EVE 実行委員会を繋げ、同志社 EVE 期間中に学内に「上京朝カフェ」を開催したことが主な実績です。

2点目「学内のボランティア活動の統括及び学生団体支援」においては、現存の同志社ボランティアネットワーク（V-NET）の仕組みを発展させるべく、V-NET 参画団体の活動を一般学生へ還元する機会としてボランティア支援室との共催事業（V-NET 連携事業）を実施し、バラエティ豊かなプログラムを学内に展開しました。

3点目「ボランティア活動参加のきっかけの提供」においては、同志社大学ポータルにて「ボランティア支援室だより」を定期配信し、学内外のボランティア情報を提供しました。また、一方的な情報提供に留まらず、気軽に経験者の話を聞き、相談できる場（企画名：ボラカフェ）を設けたり、経験者がボランティア活動を引率して当日の活動をサポートしたりと、参加へのハードルを下げる取り組みも行いました。

4点目「ボランティアへの関心を高める機会提供」においては、ボランティアの在り方や概念を学ぶだけでなく、社会との向き合い方やキャリア形成を意識した「連続ボランティア講座」を開催しました。本学卒業生をゲストに迎え、学生時代に経験したボランティア活動が現在の仕事や生活にどのように繋がっているのかを紹介いただき、今後の進路選択や生き方について考えるきっかけを提供しました。

5点目「災害ボランティアへの取り組み・災害時対応の協議」においては、2007年に上京区と締結した災害ボランティアセンター設置に係る協定について、有事を想定した実運用の確認やマニュアル整備に向けて上京区役所・上京区社会福祉協議会・本学の三者で懇談の場を設け、協議しました。また、2024年元旦に発生した地震及び同年9月の豪雨による被災を受け、未だ復興途中の石川県能登半島において、キリスト教文化センターと共催で現地支援を行うボランティアプログラムを展開しました。

様々な取り組みを行っている一方で、「ボランティア活動に対して意欲的に参加する学生が減少している」という現状について、本学ボランティア支援委員会内にて問題意識が共有されています。「何かしたいと思いながら行動に移せていなかった」「1人での参加にハードルを感じて躊躇していた」「ボランティアにどう参加していいかわからない」といった学生からの声に耳を傾け、ボランティア支援室としてどのようにアプローチしていく必要があるかを思索しながら、今後も学内におけるボランティア活動の機運醸成に向けて取り組んで参ります。

ボランティア支援室長 飯田 健

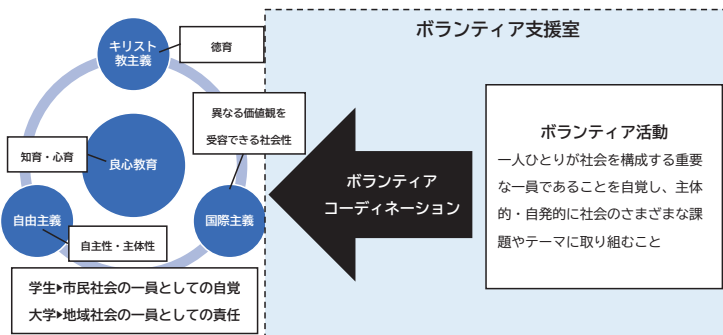
目次

1. 巻頭言	1
2. ボランティア支援室について	
理念・目的／組織体制／活動内容／相談対応について／学生相談件数について	2
2024年度ボランティア支援室主催事業	3
3. ボランティア支援室実施事業	
体験ボランティアプログラム「はじボラ」／連続ボランティア講座	4
ボランティア情報の発信・提供／ボラカフェ／能登半島地震被災地支援ボランティアプログラム	5
4. 同志社ボランティアネットワーク	
■ V-NET	
同志社ボランティアネットワークとは／ボランティアサークル合同説明会	6
V-NET 連携事業／V-NET インスタグラム開設・運営／V-NET 活動報告会	7
■ V-NET 加盟団体一覧	
国際居住研究会／国際経済商学学生協会（アイセック）／学生団体 CHAD	8
Shinmachi Activate Project／ASUVID 今出川／STUDY FOR TWO 同志社大学支部／学生団体ラッキー	9
ARCO／edunka／お客様がいらっしゃいました。	10
Global Baton／ARCO（京田辺）／G-Link	11
5. 地域連携	
地域連携の取り組み紹介／地域連携推進室とは／2024年度 地域団体・イベント等への企画、運営協力	12
上京朝カフェ in 同志社 EVE／寒梅館クリスマスウィーク	13

2. ボランティア支援室について

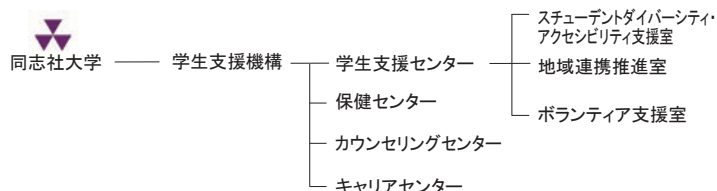
理念・目的

同志社大学は創立以来、建学の精神である「良心教育」に基づく「知育・心育」、教育理念の「キリスト教主義」に基づく「徳育」、「自由主義」に基づく「自主性・主体性」、「国際主義」に基づく「異なる価値観を受容できる社会性」、ボランティア活動がそれらを網羅的に育み、ボランティアコーディネーションを通して「学生の市民社会の一員としての自覚」を促すことを目的として、2016年4月に開設しました。また、学生の成長を支援していくと同時に、大学が「地域社会の一員としての責任」に応じていく役割も念頭に活動します。



組織体制

ボランティア支援室は、課外プログラムや学生生活上の補助を行うことで、学生生活を主体的に送れるようサポートしている学生支援センターの中に位置づけられています。また、ボランティア支援室に関する基本的事項を審議するため、ボランティア支援委員会を設置しています。ボランティア相談の対応やボランティアプログラムの実施等においては、ボランティア支援室の職員が企画・運営しています。



ボランティア支援委員（2025年3月現在）

氏名	役職
飯田 健	ボランティア支援室長（委員長）
和田 喜彦	キリスト教文化センター所長
永田 祐	社会学部 教授（学識経験者）
Bettina GILDENHARD	グローバル・コミュニケーション学部 准教授（学識経験者）
岩田 喬	学生支援機構事務部長
伊東 恵司	今出川校地学生支援課長
濱田 志保	京田辺校地学生支援課長

ボランティア支援室（2025年3月現在）

事務局3名、ボランティアコーディネーター1名

活動内容

- ボランティア情報の収集及び学生への情報提供
- ボランティア活動への学生の参加促進
- ボランティア活動に参加する学生への助言と支援
- ボランティアセミナー、講習会等の実施
- 学内外のボランティア団体等との連携・協力

相談対応（ボランティアコーディネーション）について

ボランティア支援室では、各校地の窓口にてボランティア活動を希望する学生に対し、相談対応を行っています。「どんな活動があるのか知りたい」「ポータルで配信していた情報について詳しく話を聴きたい」「以前も利用したが、他にも情報を知りたい」などの、様々な相談が寄せられました。

また、学生以外に、ボランティア募集を希望される団体の方からの相談にも応じています。ボランティア情報を掲示板やラックでの配架（ポスター・チラシ等）、来室した学生への紹介、適宜ボランティア支援室HPへ掲載等の方法で学内に展開するためには、団体登録いただく必要がありますので、以下のとおりご案内いたします。

* 学生ボランティアの募集を希望される団体さまへ *

● 新規の場合

初めてボランティア募集を依頼される場合は、【団体登録】並びに【ボランティア募集シート提出】の手続きが必要となります。詳しくは右記ボランティア支援室HPの「学外の方」をご覧ください。か、お電話にてお問い合わせください。

● 継続の場合

これまで団体登録は自動継続としていましたが、コロナ禍を経て活動の実態が登録時とは異なっている団体もあることから、団体登録の手続きを見直し、2023年度からは年度ごとに登録していただくこととなりました。2024年度に既にご登録されている団体につきましては、担当者よりメールにて継続意志を確認させていただきます。



手続き方法

<https://volunteer.doshisha.ac.jp/outside/>

学生相談件数について（相談者年度計：20名）

ボランティア支援室では、相談者に応じたボランティア活動をコーディネートできるよう「学生相談受付シート」にて情報を把握し、ボランティア支援室内で共有しています。2024年度の相談者数は延べ20名となりました。

2024 年度 ボランティア支援室主催事業

今=今出川校地 田=京田辺校地 両=両校地 外=学外

開催日	企画名称	参加者数	校地	場所	実施主体
4月5日、15日	ボランティアサークル合同説明会in京田辺	5日:18名 15日:5名	田	ローム記念館劇場空間	V-NET ボランティア支援室
4月9日、15日、 18日	ボランティアサークル合同説明会in今出川	9日:約200名 15日・18日:35名	今	良心館207教室 良心館305教室、良心館地下 ラウンジ	V-NET ボランティア支援室
4月16日、22日	ボラカフェ2024 Vol.1 in 京田辺～先輩が語るボランティアの魅力～	16日:3名 22日:5名	田	ボランティア資料室	ボランティア支援室 ゲスト:G-Link
4月23日、25日	ボラカフェ2024 Vol.1 in 今出川～先輩が語るボランティアの魅力～	23日:2名 25日:2名	今	ボランティア資料室	ボランティア支援室 ゲスト:edunka、 ARCO
5月10日、13日	ボラカフェ2024 Vol.2 in両校地～ボランティア体験紹介～	今出川:4名 京田辺:4名	両	ボランティア資料室	ボランティア支援室 ゲスト:ARCO (京田辺)
6月9日	はじボラ「西陣朝市マルシェ」	2名	外	西陣児童公園	ボランティア支援室 引率協力:ARCO
6月13日、14日	ボラカフェ2024 Vol.3 in両校地～ボランティア体験紹介～	今出川:2名 京田辺:4名	両	ボランティア資料室	ボランティア支援室 ゲスト:学外活動者、 ARCO (京田辺)
6月16日	はじボラ「能舞台清掃」	4名	外	今宮神社御旅所	ボランティア支援室 引率協力:ARCO
6月23日	はじボラ「まちなかあそび教室PLAY!もとにし」	5名	外	元西陣小学校	ボランティア支援室 引率協力:昨年度参加者
7月3日	能登半島地震災害ボランティア活動報告会	9名	今	ボランティア資料室	ボランティア支援室
7月4日、5日	ボラカフェ2024 Vol.4 in両校地～ボランティア体験紹介～	今出川:5名 京田辺:3名	両	ボランティア資料室	ボランティア支援室 ゲスト:ARCO、 ARCO (京田辺)
9月21日	はじボラ「プレイパークで子どもと遊ぼう」	4名	外	そよかぜ幼稚園 雑創の 森プレイスクール	ボランティア支援室 引率協力:ARCO (京田辺)
9月24日	はじボラ「里山農園で環境ボランティアを体験しよう」	4名	外	やましろ里山の会 (里山農園)	ボランティア支援室 引率協力:ARCO (京田辺)
10月15日	連続ボランティア講座 (京田辺校地開催)	一般・教職員 含む14名	田	ローム記念館劇場空間・ Zoom	ボランティア支援室 協力:Global Baton、 ARCO (京田辺)
11月1日	連続ボランティア講座 (今出川校地開催)	教職員含む6名	今	ボランティア資料室・ Zoom	ボランティア支援室 協力:国際居住研究会
11月10日、17日	【V-NET連携事業】夏ワーク報告会	一般・団員含む 130名	外	キャンパスプラザ京都	国際居住研究会
11月22日	【V-NET連携事業】コミュニティカフェ体験	開催取り止め	外	南部まちづくりセンターミ ライロ	G-Link
11月23日	【V-NET連携事業】プレイパーティー	0名	外	そよかぜ幼稚園 雑創の 森プレイスクール	ARCO (京田辺)
11月30日	【V-NET連携事業】子どもたちの1日大学生体験	0名	田	別館第12会議室	ARCO (京田辺)
12月8日	【V-NET連携事業】子ども会でボランティア	3名	外	田辺区民館	ARCO (京田辺)
12月10日～ 12日	寒梅館クリスマスウィーク ワークショップ	地域参加者延べ 93名	今	寒梅館	ボランティア支援室 今出川校地学生支援課
12月14日	【V-NET連携事業】第27回同志社つながる@カフェ クリスマス会～子どもたちと遊ぼう～	3名	外	Knocks!horikawa	ARCO
12月14日	【V-NET連携事業】おちゃっこタイム	1名	田	京田辺校地別館和室	ARCO (京田辺)
12月19日	V-NET交流会	13名	今	良心館321教室	V-NET
1月9日	【V-NET連携事業】みんなで話そう!生理のこと	0名	今	ボランティア資料室	お客様がいらつしや いました。
2月12日	V-NET活動報告会	V-NET11団体 参加者29名	今	良心館207教室	V-NET
3月7日～8日	能登半島地震被災地支援ボランティアプログラム	学生13名 引率教職員4名	外	石川県輪島市	キリスト教文化センター ボランティア支援室

3. ボランティア 支援室実施事業

体験ボランティアプログラム「はじボラ」

昨年度に引き続き、ボランティア経験が少ない初心者層を主な対象とした、ボランティア活動を始めのきっかけづくりを目的に学外での体験ボランティアプログラム（名称：はじボラ）を実施しました。今年度は学生の関心が高い「子ども」「まちづくり」「環境」の3分野において、5プログラム実施しました。また、ボランティアネットワーク（通称 V-NET）に所属する団体や、昨年度の同プログラムに参加した学生に当日の引率協力を呼びかけ、活動中のサポートを担ってもらうことで、引率学生のスキルアップだけでなく、初心者の参加ハードルを下げることができました。

<実施プログラム>

- ・西陣朝市マルシェ（まちづくり）
- ・能舞台清掃（まちづくり）
- ・まちなかあそび教室 PLAY! もとにし（子ども、まちづくり）
- ・プレイパークで子どもと遊ぼう（子ども）
- ・里山農園で環境ボランティアを体験しよう（環境）

参加した学生からは「想像よりも気軽に参加できてよかった。地域の方とお話できたのもよかった」「初めてのボランティア参加だったので、緊張していたが、地域の方が優しく接してくださり、嬉しかった。清掃後の座談会で、能舞台のことだけでなく、京都のこと、上京区の歴史についても知れてよかった。」「ボランティアが一方的に苦勞するイメージが参加するまではあったが、今回の活動を通じて人々とコミュニケーションをしながら、一緒にボランティア活動をもっと豊かにしていくというイメージに変わるようになった」といった、様々な声が寄せられました。

今回をきっかけに、「他のボランティアにも興味を持った」「また同じ活動に参加したい!」という声もあり、今後もボランティア活動への参加の後押しを行っていきたいと思います。



連続ボランティア講座

ボランティアの在り方や概念を学ぶだけでなく、社会との向き合い方やキャリア形成を意識した「連続ボランティア講座」を開催しました。両校地1回ずつ開催し、延べ20名の学生が参加しました。本講座では、本学卒業生をゲストに迎え、学生時代に経験したボランティア活動が現在の仕事や生活にどのように繋がっているのか、また大学生活の過ごし方やボランティア活動の魅力について講話いただきました。

その後、ボランティアサークルに所属する学生とゲストとの対談を行い、ボランティアに参加したきっかけや、続けているモチベーションなどについてざっくばらんに語っていただきました。

参加した学生からは「今まで“学チカ”や就職のためというのが動機としてボランティアサークルに入ったけれど、ボランティアの魅力を今回知ることができた」「ボランティアと自分の将来がなかなかつながらなかったのですが、行動に起こすだけでも学ぶことはあり、まずは行動しようと思いました。」といった声が寄せられました。

ボランティアの魅力を改めて知る機会となった他、今後の進路選択や生き方について考えるきっかけを提供することができました。今後も様々な角度からボランティアの魅力を発信できればと考えています。



ボランティア情報の発信・提供

これまで、メールマガジンや公式 LINE を用いて試行錯誤してきましたが、いずれも登録者にしか情報を届けることができませんでした。そこで、2024 年度より同志社大学ポータルにて「ボランティア支援室だより」を全学生に定期配信し、学内外のボランティア情報を提供しています。これにより、今まで情報が届かなかった層にもボランティア情報を提供できるようになりました。

ボラカフェ

一方的な情報提供に留まらず、「ボランティアに興味はあるけれど一歩踏み出せない」「何から始めたら良いかわからず行動に起こせていない」といった学生を主な対象として、参加者それぞれが疑問や不安を解消しながら活動を探したり、活動経験者の話を気軽に聞ける場として、春学期の開講期間中に毎月 1 回「ボラカフェ」を開催しました。

4 月はボランティアネットワークに所属する団体が先輩ゲストとして登場し、団体の活動紹介だけでなく、一人ひとりの経験談を共有してもらいました。例年よりもボランティアの魅力を感じることのできる機会を多く作ることができました。今後も様々な形で、ボランティアの情報提供や魅力発信を行っていききたいと思います。



能登半島地震 被災地支援ボランティアプログラム

2025 年 3 月 7 日（金）～ 8 日（土）に、キリスト教文化センター・ボランティア支援室の共催で能登半島地震被災地支援ボランティアプログラムを実施しました。参加学生 13 名と引率教職員 4 名合わせて、17 名が活動しました。

これまで本支援室では、災害ボランティアに関する相談対応や募金等の後方支援などを行ってきましたが、相談対応を行う中で、能登半島地震に関する災害ボランティア情報の少なさ、現地までの移動手段のハードルの高さなど、活動に参加したい思いがあっても難しさを感じている学生が多くいるとわかりました。一人での参加は躊躇してしまうという声が寄せられたことを受け、キリスト教文化センターと共催で能登半島地震被災地支援ボランティアプログラムを開催する運びとなりました。

現地の活動は、北陸学院大学のコーディネートのもとで、地域住民の交流拠点となっているバラ園の整備や仮設住宅の藁葺剥がし等を行い、現地の方の生活に沿った支援活動を行いました。また、輪島市在住の本学卒業生との交流も行い、被災地域の現状や被災者の気持ちを知る機会となりました。

参加した学生からは「実際に現地に行ったことで、能登半島について、とても関心を持つことができました。私たちにできることは確かに小さいかもしれないが、能登半島に関心を持ち続けることも支援の 1 つだと思うので、今後も注視していきたいと思います。」といった声が寄せられました。

被災された地域住民の方の生活が少しでも前に向くよう、引き続き、本学でできることを継続していきたいと思います。
※本プログラムは、公益財団法人スポーツ安全協会スポーツ普及奨励助成事業を活用し、実施しました。



4. V-NET

同志社ボランティアネットワークとは

同志社ボランティアネットワーク（通称 V-NET）は、同志社大学に所属するボランティア団体（公認団体、学生支援センター登録団体）の活動のさらなる活性化を目的とした、学内ボランティア団体横断型ネットワークです。2024 年度の V-NET は両校地合わせて 13 団体が加盟して活動を行い、ボランティア支援室が主催する V-NET 会議にて、日頃の活動や組織の運営について情報共有や意見交換を行っています。

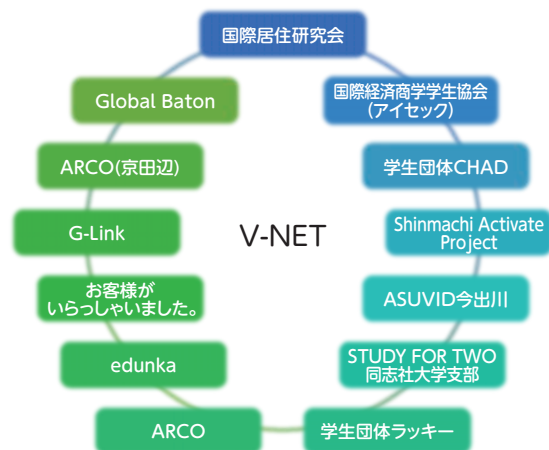
<加入団体一覧>

【今出川校地】

国際居住研究会
国際経済商学学生協会（アイセック）
学生団体 CHAD
Shinmachi Activate Project
ASUVID 今出川
STUDY FOR TWO 同志社大学支部
学生団体ラッキー
ARCO
edunka
お客様がいらっしゃいました。

【京田辺校地】

Global Baton
ARCO（京田辺）
G-Link



ボランティアサークル合同説明会

昨年度までオンラインで開催していた合同新歓企画は、各校地にて対面で開催しました。今出川校地では 200 名以上の参加があり、加盟団体の活動を多くの方に知ってもらえる機会となりました。また、今年度は合同新歓から運用を開始した V-NET インスタグラムの本格始動や、団体の交流を深める交流会企画などを、V-NET 担当者から有志メンバーが中心となって活動する動きがあり、V-NET 全体の活動が盛り上がっています。

【参加団体レポート】活動報告・感想

今年度の V-NET 合同新歓（今出川）は、4/9（火）に今出川校地所属全団体 10 団体で開催し、翌週は分野ごとにわけて 4/15（月）・4/18（木）の 2 日間で開催しました。特に、初日の 4/9（火）は 200 名近くの参加者が集まり、会場は大盛況でした。各団体のブースでは、説明を聞きに来てくださった参加者に向けて、各団体がスライドや動画を見せながら説明をしたり、参加者も質問をしてくださったりと、対面ならではの密なコミュニケーションをとることができました。同時に行われた各団体の発表では、基本情報だけでなく、自団体の魅力や活動への想いを短い時間の中で伝えることができたと思います。

私は 2022 年度から V-NET 合同新歓に参加させていただき、今年度が 3 回目の参加でしたが、それまではオンラインでの開催であったため、対面での開催は今回が初めてでした。対面での開催に伴い、以前よりも議題や役割が増えましたが、毎回のミーティングでは 2 年次生を中心に画期的な意見やアイデアが飛び交い、より良い企画にすることができました。学生生活最後の年に対面での V-NET 合同新歓を経験させていただけたこと、他団体のみなさんと協力して実施までこぎつけることができたこと、そして何より、新入生にとって本企画が「ボランティア」に触れる第一歩とすることができて嬉しく思います。本当にありがとうございました。

文学部・英文学科 4 年次生（STUDY FOR TWO 同志社大学支部） 鎌込 拓也

※学生の所属は2024年度の情報です。



V-NET 連携事業

今年度新たな取り組みとして、V-NET に加盟している団体の活動を、一般学生へ還元する機会としてボランティア支援室との共催事業（V-NET 連携事業）を実施し、5 団体 8 事業を展開しました。具体的には、ボランティア支援室が団体活動情報のハブとなり、ボランティア支援室の広報ツールを活用することで一般学生へ情報を提供し、V-NET 加盟団体は、企画運営及び当日の受け入れ等を行い、一般学生へボランティア活動の機会や活動に関連する情報（地域や社会問題等）を提供しました。普段行っているボランティア活動の他に、夏期休暇期間中に行った活動報告を聞く場や、外部向けに行っている啓発活動を実際に体験できる場などが展開されました。一方で、周知期間が短期間になったことなどから一般学生の参加に繋がらなかった事業もあるため、課題が大きく残りました。次年度に向けて進め方等を見直し、取り組んでいきたいと考えています。

2025 年度も引き続き、V-NET 加盟団体同士の交流を深めると共に、各団体の活動が活性化するように、支援の在り方を検討していきたいと思っています。



V-NET インスタグラム開設・運営

ボランティアサークル合同説明会（合同新歓企画）の周知の際に、各団体の SNS の発信で周知するのではなく、V-NET 独自のアカウントにて情報を発信したいという声を受け、V-NET 参画団体とボランティア支援室が協同で運営するインスタグラムのアカウントを開設しました。

春学期の新歓期間が終了した後に、改めて本アカウントの運用目的を検討し、年間を通して発信を行うことで、V-NET 加盟団体の新メンバー獲得に繋がるように整理しました。秋学期より、有志メンバーを募り本格始動しています。

Instagram アカウント @vnet_doshisha



V-NET 活動報告会

1 年間の振り返りと V-NET に加盟している団体同士のさらなる理解を深める場・交流できる場として、活動報告会を昨年度に引き続き開催いたしました。オンラインでの参加者を合わせて 11 団体 28 人が参加しました。

はじめに 2024 年度に特に力を入れた活動について各団体から発表をしてもらい、後半ではグループにわかれて団体間交流を行いました。団体間交流の時間では、前半の発表に対する質問の他、団体運営についてや、新歓活動について情報交換を行う様子がありました。

また、2024 年度に V-NET 担当者だったメンバーには、V-NET の運営についても振り返りを行いました。「V-NET 合同新歓企画では多くの人が参加してくれて、自団体への加入にもつながった」といった声が多く寄せられる一方で、「V-NET としての認知度を高めたい」といった課題も確認することができました。来年度も引き続き、団体同士の交流を深める機会として、また V-NET 全体の振り返りの場としても開催したいと思っています。



4. V-NET 2024 年度加盟団体一覧

国際居住研究会

活動内容

私たちは「世界の誰しにも可能性の開かれたフェアな社会の実現を目指します」という理念のもと、国内外問わず多様な支援活動を行う歴史あるボランティアサークルで、同志社大学の公認団体です。

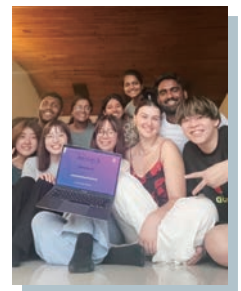
普段は貧困地域への住居支援、フィリピンの女性と子供達への支援、バングラデシュ孤児院への支援、農業指導者の育成学校への支援、ミャンマー難民と日本で生活する難民の支援のそれぞれを主な活動とする5つのプロジェクトに分かれ活動しています。



国際経済商学学生協会（アイセック）

活動内容

私たちは、「平和で人々の可能性が最大限発揮された社会」の実現に向け、送り出し事業と受け入れ事業という2つの海外インターンシップ事業を運営しています。送り出し事業は、日本の大学生を海外のNGOや教育機関に送り出すインターンシップ事業で、約6週間、海外で現地の社会課題に向合う経験を通してリーダーシップを育成しています。受け入れ事業は、海外の学生を企業に受け入れていただく海外インターンシップで、海外の学生に異なる文化や環境で挑戦する機会を提供し、国際社会で活躍するリーダーを輩出することを目指しています。



学生団体 CHAD

活動内容

私達はカンボジアの子供たちに向けた教育支援を行っている学生団体です！

毎年、春夏と2回カンボジアに渡航し、物資支援やアート制作などのプロジェクトを行っています！また、日本の小学校でカンボジア授業を行うなど幅広く活動しています！

「挑戦と自己成長の場の創出」を活動理念に、カンボジアと日本の架け橋になるよう日々活動を続けています！

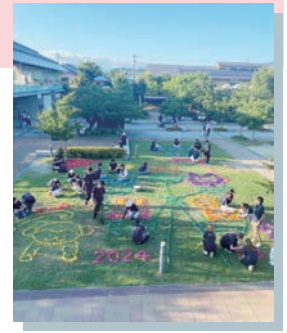


Shinmachi Activate Project

活動内容

私たちは、同志社大学の今出川校地のキャンパスの1つである新町キャンパスを拠点にして活動しています。活動の最大の目的はキャンパスのある新町地域を活性化させることです。

本団体は政策学部、社会学部の学生のみで構成されており、キャンドルイベントの主催や地域のイベントへの参加など日々精力的に活動しています。また、毎年12月には、1年の締めくくりとして新町祭を開催しています。地域を盛り上げられるよう、団員一同愛を持って活動しています。



ASUVID 今出川

活動内容

同志社大学最大規模のボランティアサークルで、多様な活動を行っています。災害救援では、泥出しや炊き出し等を行い、地域活性化ではお祭りの手伝いや農作業を行っています。さらに、海岸や街の清掃といった環境保護、子どもたちとの交流等、活動は多岐にわたります。活動を通して、学生が自己成長し、大切な仲間を見つける事が出来る場所となっています。共に生きる社会を目指して、日々学生の熱意とパワーで挑戦しています！



STUDY FOR TWO 同志社大学支部

活動内容

STUDY FOR TWO は、「勉強したいと願うすべての子どもたちが勉強できる世界に」「FOR ME, FOR TWO のボランティアが身近になる世界に」の理念のもと、全国40近くの大学支部が活動しています。大学生のみなさんに使い終えた教科書を寄付していただき、集まった教科書を定価の半額以下で再販売しています。販売で得た利益の8割は、タンザニアといった開発途上国の子どもたちの教育支援に充てています。



学生団体ラッキー

活動内容

週一回のミーティングに加え、春夏の長期休暇に実際にネパールに行き、現地の子供達に教育支援を行っています。今年の春に、図書館プロジェクトという、現地の子供達の就学率向上、図書館を通した学生団体ラッキーとの繋がりを表現し、今後の現地とのコミュニケーションを深めることを目標としています。その他に、サークルメンバーの仲を深めるために、不定期ではありますが、ドライブや夏合宿などのイベントを行ったりしています。



4. V-NET 2024 年度加盟団体一覧

ARCO

活動内容

私たち ARCO は、同志社大学今出川キャンパスがある京都市上京区を中心に活動するボランティアサークルです。上京区内で開催されるイベントや清掃活動にボランティアとして参加しているほか、地域の団体とコラボして、学生や地域の方がつながることのできる場を創出するためのイベントの企画も行っています。地域との距離が近く上京区のことを知るきっかけになることはもちろん、大学周辺での活動のため参加のハードルが低いことも魅力の1つです！



edunka

活動内容

【興味関心の種をまく】をモットーに、「やりたいことが見つからない大学生の興味関心を探るきっかけになる活動をしたい」という想いで始まりました。現在は主に、京都の夏の伝統行事である「地藏盆」の復活・新興に携わる中で、地域活性化、伝統継承、子どもの教育、遊びの可能性など多岐にわたる社会課題に触れ、メンバー同士の興味関心を刺激し合って活動しています！



お客様がいらっしゃいました。

活動内容

生理用品の寄付募集や配布、生理の知識の発信を行い、生理の貧困や生理に関する悩みを抱える方々への支援活動を行っています。また、生理に対する社会的な理解を深めるため、イベントや SNS などでの情報発信を通じて、誰もが安心して話題にできる環境づくりを目指しています。



Global Baton

活動内容

私たちは日本人学生と外国人留学生がそれぞれの個性を発揮し、一緒に楽しく活動している国際交流ボランティアサークルです。コロナ禍が明けて、今年度からは本格的に対面活動を再開しました（お菓子を通じた文化交流イベント、学園祭出店、ボランティア活動、イベント収益の寄付も2023年度分より再開）。日本人学生もフラットに留学生メンバーがいるという強みを生かし、多文化共生ボランティア団体を目指しています。



ARCO（京田辺）

活動内容

『ボランティアの普及や地域の魅力発信などを通じて、学生と地域を架け橋になる』という理念を掲げて活動しています！実際にボランティア活動に励む中で感じたボランティアの楽しさを学生に普及したり、ボランティアを通じて知った地域の魅力を発信したりすることで、京田辺地域と学生を繋ぐために日々活動に励んでいます。普段は京田辺地域で活動する地域団体と協力しながら、これらの目的を達成できるようなイベントを企画しています！



G-Link

活動内容

活動内容は主に、カフェ運営、ボランティア、イベント企画の三つを行っています。カフェ運営では、毎月第2,3,4金曜日に京田辺市立南部まちづくりセンターミライロでGOOD JOB cafeを運営しています。ボランティアではカフェ運営にお世話になっている方や、地域の方をお手伝いしており、フードバンクの食品の仕分けに参加したり、子供達の宿題を手伝う企画に参加したりしました。イベント企画では地域の方々に楽しんでもらえるようなイベントを企画をしています。



5. 地域連携

地域連携の取り組み紹介

ボランティア支援室では「大学周辺を中心とした地域連携・地域参画の推進」をミッションの一つに掲げ、学生が地域の方と交流をすることや、地域活動に参加する機会の創出に取り組んでいます。また、2024年度は、地域とともに歩む大学として、学内での取り組みに終わることなく、近隣地域や行政との協同プロジェクト立ち上げへのステップアップを期待し、同じく学生支援センター内に設置されている地域連携推進室との有機的な連携を図り、新たなニーズの掘り起こしを含めた地域連携事業を展開していくこととなりました。

本ページでは、今出川校地にて、2024年度に取り組んだ地域連携事業に関するご紹介をいたします。

地域連携推進室とは

同志社大学は京都市上京区の今出川校地と京田辺市の京田辺校地があり、それぞれの校地に地域連携推進室を設置しています。今出川校地の地域連携推進室は、地域と大学をつなぐ窓口として、地域市民や団体、行政機関、企業、学校等との連携を通じて、地域づくりや社会貢献に取り組んでいます。地域の方々と共に学び、育ちあうことで、大学がある地域を「自分ごと」として捉え、地域社会の一員として行動できる学生の育成を目指します。



2024年度 地域団体・イベント等への企画、運営協力

学生及び地域の方から寄せられるボランティアの相談やイベント等への運営協力に関して、コーディネートを行っています。

今=今出川校地 田=京田辺校地 両=両校地 外=学外

開催日	企画名称	参加者数	校地	場所
4月14日	第49回西陣朝市マルシェ	3名	外	西陣児童公園
5月19日	春の上京茶会	3名	外	大本山 清浄華院
5月19日	第17回千本100円商店街	1名	外	千本商店街 朱雀大路の街
6月19日	さくら広場プロジェクト キックオフミーティング	3名	外	室町小学校
7月31日	京都市長懇談会	Shinmachi Activate Project 1名	外	上京区総合庁舎
8月9日	みんなのひろば夏祭り	5名	外	京田辺市社会福祉センター
9月22日	第20回西陣伝統文化祭「千両ヶ辻」	EVE実行委員会9名	外	千両ヶ辻(上京区大宮通周辺)
10月13日	松井ヶ丘自治会	G-Linkが運営協力	外	松井ヶ丘自治会館
10月20日	能舞台清掃	2名	外	今宮神社御旅所
10月26日	第9回城陽南マルシェ	G-Linkが運営協力	外	城陽官衙遺跡 公園内
11月2日	秋の上京茶会	4名	外	相国寺養源院
11月9日	ことなり京都in梨木神社	1名	外	梨木神社
11月10日	第52回西陣朝市マルシェ	2名	外	西陣児童公園
11月10日	第18回千本100円商店街	6名	外	千本商店街 朱雀大路の街
11月28日	上京朝カフェ in 同志社EVE(開催場所を提供)	学内外合計50名	今	良心館1階ルーセントプラザ
12月1日	みんなのひろば クリスマス会	5名	外	京田辺市社会福祉センター
12月7日	中立学区立売	1名	外	新町小学校
12月7日、8日	サッカー部 ボランティア(木津川堤防の集草作業(木津川希少種植生調査保全活動))	全日総参加者数50名	外	木津川堤防(八幡市内~木津川市加茂町)
12月15日	室町学区おもちつき大会	1名	外	室町小学校
2月9日	まちなかあそび教室PLAY!もとにし	2名	外	元西陣小学校
2月16日	Reveチャレンジカップ	ARCO(京田辺) 3名	外	田辺中央体育館アリーナ
3月30日	第14回堀川桜まつり	学生放送局2名	外	一条戻橋界隈

上京朝カフェ in 同志社 EVE

同志社 EVE は本学の創立記念行事であり、学生の自主管理・自主運営で開催されています。第 149 回同志社 EVE では地域に開かれた行事を目指すべく、様々な取り組みが行われました。その一環として、上京区の地域交流の場である「上京朝カフェ」に同志社 EVE 実行委員会（学生団体）の参加を促したことがきっかけとなり、今年度の同志社 EVE 期間中に、学内にて「上京朝カフェ」が開催されることとなりました。同志社 EVE 内での「上京朝カフェ」開催によって、本学の課外活動団体が飛び入り参加したり、学外の方にとっては大学を訪れる機会になったりと、大学と地域がつながり、様々な交流が生まれました。学内外合わせて 50 名以上が参加し、通りがかりの同志社 EVE 来場者も足を止めて交流の様子を見学していました。



< Topic >

第 149 回を迎えた同志社 EVE は、次年度の 150 周年を見据え、従来の慣習に囚われない新しい EVE の可能性を模索し、創出することを目標に掲げ取り組んでいました。同志社 EVE 実行委員会内に地域連携に特化した新しい部署が設立され、2024 年度は地域に根差したボランティア活動や地域イベントへ参加し、伝統工芸品ワークショップや近隣飲食店を誘致するなど、新たな可能性に取り組みました。

寒梅館クリスマスウィーク

地域の方と学生が交流する機会として、12 月に同志社大学室町キャンパス寒梅館にて「寒梅館クリスマスウィーク」が開催されました。本企画は、課外活動団体の特性やスキルを活かし、クリスマスの雰囲気を楽しめるコンサートの開催やワークショップを通じて、地域の方との交流を図ることを目的としたプログラムです。同じ学生支援センター直下の地域連携推進室（事務局：今出川校地学生支援課）との協働で開催しており、ボランティア支援室ではワークショップ企画を担いました。アート、ハンドベル、書道、茶道などの様々なジャンルの課外活動団体に協力を呼びかけ、当日は延べ 93 名の参加者がありました。主に近隣の小学生や地域の方に参加いただくことができ、地域と学生・大学がつながる機会となりました。今後は、冬だけでなく夏にも寒梅館を開き、より一層地域と学生の関係が深まるような事業を展開していきたいと考えています。





同志社大学 学生支援センター
ボランティア支援室

HP

<https://volunteer.doshisha.ac.jp/>



Instagram

@doshisha_volunteer



開室時間

(平日)9:00~17:00 ※11:30~12:30除く

今出川校地

〒602-0023 京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103
室町キャンパス寒梅館1F

Tel(075)251-3236 Fax(075)251-3099

Mail ji-volun@mail.doshisha.ac.jp

京田辺校地

〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷1-3

京田辺キャンパス成心館1F

Tel(0774)65-6777 Fax(0774)65-7024

Mail jt-volun@mail.doshisha.ac.jp